



# 大昔のくらしとくのにの統一



待ちに待った歴史学習。歴史の学習を想像するだけでわくわくする子供も多く、とても意欲的に学習をスタートしました。歴史学習を終えた時、子供たちがどんな姿になっているか、楽しみです。



「導入の活動」、「まとめの活動」などで、児童が思考を整理するのに思考ツールを取り入れています。

## 思考ツール

学習内容を比較したり関連付けたりする際に視覚的に整理するツール

縄文時代と弥生時代の様子を描いた想像図の比較を通して、大昔の人々の生活の様子や、時代の変化に気付いた後、学習問題「大昔の人々のくらしはどのように変化していったのだろう。」について追究しました。二つの時代では、衣食住について変化が見られることを捉え、くらしが変わるきっかけとなった出来事や、その時代に活躍した人物について疑問をもちながら、学習を進めていきました。

また、人々はどのような生活をしていたか、世の中の様子はどのように変わったか、だれがどのように力を伸ばし国を治めたかなどの問いを設けていました。次に、狩猟・採集の生活や農耕が始まった頃の生活の様子、古墳の出現と広がり、大和朝廷（大和政権）の支配の広がりについて調べました。そして、これらの事象を比較したり関連付けたりして、社会的事象の味方・考え方を働かせながら学んでいました。

